

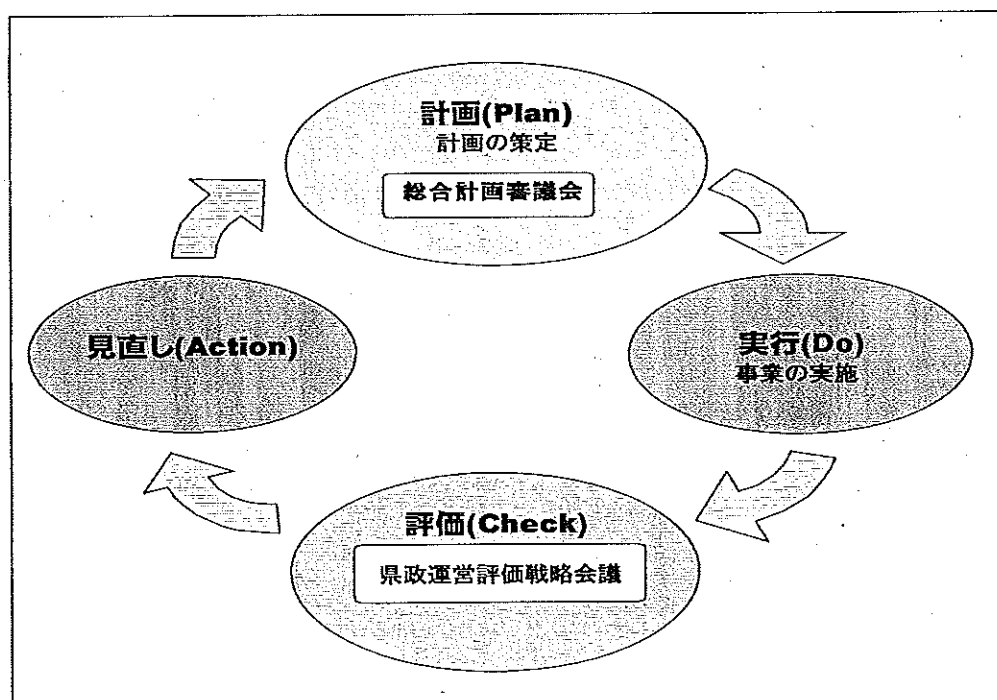
「いけるよ！徳島・行動計画」評価結果の概要

1 県政運営評価戦略会議について

行動計画の評価については、県民目線からのチェック機能の強化を図るため、行動計画の策定・推進から評価までを担っていた「徳島県総合計画審議会」の評価部門を切り分け、平成23年10月から、新たに設置した第三者機関である「県政運営評価戦略会議」において実施している。

この県政運営評価戦略会議で協議された評価結果は、徳島県総合計画審議会に提言され、現行事業の見直しや新たな施策展開の他、次期総合計画の策定にもつなげていくこととしている。

また、県政運営評価戦略会議においては、「とくしま目安箱」や「わくわくトーク」に寄せられた県民からの意見・提言について、優れたものを選定し、徳島県総合計画審議会に提言することにより、県民意見の県政への積極的な反映を図る役割も担っている。



2 事業評価について

(1) 開催状況

今年度の戦略会議は、基本目標ごとに、7月30日から8月27日までの間に7回開催した。

(2) 評価対象

「いけるよ！徳島・行動計画」に位置付けられた主要事業（750事業）の全てを対象とした。

(3) 評価方法

今年度は、「いけるよ！徳島・行動計画」の最終年度であることから、「平成25年度を中心とした、これまでの取組内容及び成果」と「今後の取組方針及び達成見込み」の2つの視点から評価することとした。

評価方法としては、あらかじめ、担当部局が作成した主要事業（事業概要）ごとの「評価シート」に基づき、委員の代表者が作成した「評価案」について、戦略会議の場で議論した上、「評価結果」として取りまとめるという方法で行った。

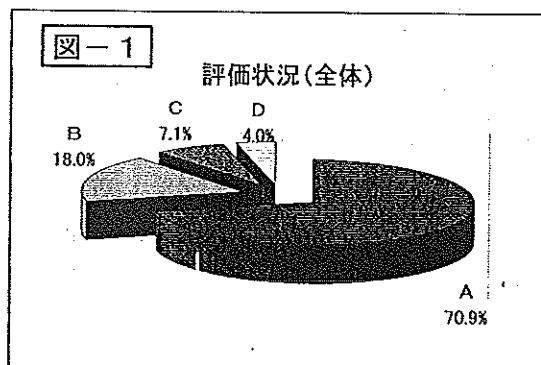
(4) 評価結果

「A（順調）」と評価されたものが532事業（70.9%）、「B（概ね順調）」とされたものが135事業（18.0%）、「C（要見直し）」とされたものが53事業（7.1%）、「D（抜本的な見直し）」とされたものが30事業（4.0%）となった。

表－1 主要事業の評価結果について

評価	基本目標	1	2	3	4	5	6	7	合計	比率
		にぎわい・感動とくしま	経済・新成長とくしま	安全安心・実感とくしま	環境首都・先進とくしま	みんなが主役・元氣とくしま	まなびの邦・育みとくしま	宝の島・創造とくしま		
主要事業	A 順調	62	87	129	53	50	68	83	532	70.9% (65.3%)
	B 概ね順調	22	23	19	29	11	13	18	135	18.0% (27.7%)
	C 要見直し	11	9	6	10	10	2	5	53	7.1% (6.3%)
	D 抜本的な見直し	9	10	2	7	1	1	0	30	4.0% (0.7%)
	合計	104	129	156	99	72	84	106	750	100.0% (100.0%)

※ 比率の欄の（ ）内は、昨年度に実施した評価結果の比率である。



(5) 「いけるよ！徳島・行動計画」基本目標別 主な評価と意見(抜粋)
 基本目標1 にぎわい・感動とくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●空港の利用促進 エアポートセールスを推進し、定期航路の新規開設を図るとともに、徳島を発着する航空路線の利便性向上、ターミナルビルにおけるイベント開催によるにぎわい創出などにより、「徳島阿波おどり空港」の利用を促進します。 ○定期航路の新規開設 [26]開設</p>	A	<p>本年3月から徳島・東京便が1日12往復に増便されるとともに、8月には季節便である徳島・札幌便が4年ぶりに就航することとなった。 また、国内定期路線の利用者も増加傾向にあることから、A評価とした。</p>
2	<p>●「阿波とくしま」魅力向上の推進 本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土芸能など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげていくとともに、県南や県西における教育旅行の受入拡大を支援することで、県民参加型の観光客誘致を推進します。 ○体験型教育旅行における協議会受入泊数(累計) [21]6,181泊→[26]29,700泊 ○グリーン(ブルー)・ツーリズムインストラクター数(累計) [21]32人→[26]47人</p>	B	<p>数値目標のうち体験型教育旅行における協議会受入泊数は目標を達成しているものの、グリーン(ブルー)・ツーリズムインストラクター数が、わずかではあるが目標に達していないことからB評価とした。</p> <p>・H25実績 29,255泊(H25目標25,000泊)</p> <p>・H25実績 44人(H25目標46人)</p>
3	<p>●観光立県とくしまの実現 本四高速への全国共通料金の導入を見据え、県外からの観光入込客数の増加を図るため、来県する観光客に対する新たな観光周遊ルートや宿泊滞在型観光プランの提案など、観光誘客対策を推進します。 ○年間の延べ宿泊者数(従業員10人以上の宿泊施設) [21]120万人→[26]148万人 (注)平成26年度から数値目標を次のとおり変更 [21]166万人→[26]210万人(従業員10人未満の宿泊施設を含む全宿泊施設)</p>	C	<p>数値目標が未達成であり、C評価としたが、今年度から「本四高速の全国共通料金制度」が導入され、また、マチ★アソビ等のイベント開催などにより宿泊者数も伸びてきていることから、一層の頑張りを期待したい。</p> <p>・H25実績(従業員10人以上の宿泊施設) 135万人(H25目標143万人) ・H25実績(従業員10人未満の宿泊施設を含む全宿泊施設) 226万人</p>
4	<p>●競技力向上対策の推進 県出身者が全国大会や国際大会で活躍ができるよう、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続的に支援します。また、競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図り、競技力の向上を進めます。 ○国民体育大会天皇杯順位 [26]30位台</p>	D	<p>国民体育大会天皇杯順位30位台という最終目標を掲げ、競技力の向上に取り組んでいるが、現状では最終目標達成は難しいと思われることから、D評価とした。</p>

基本目標2 経済・新成長とくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●「とくしまデジタルコンテンツ戦略」の推進 デジタルコンテンツ企業が県内で創業又は立地する際の支援策の再構築や充実を図ります。 ○「新・創業応援とくしま」戦略の展開 [24]展開</p>	A	<p>神山町などにおいて、デジタルコンテンツ企業が立地するなど、取組の成果があらわれていることから、A評価とした。 これから成長が期待できる分野であることから、なお一層、頑張ってもらいたい。</p>
2	<p>●ひろがる「とくしまブランド」戦略の展開 「生鮮市場」はもとより「食品全般」を視野に入れた「新鮮なっ！とくしま」号の全国展開や、大都市、海外におけるPR体制並びに生産体制の強化を行います。 ○大阪中央卸売市場における青果物の都道府県別販売金額 [21]第2位→[26]第1位 ○「飛び出す」ブランド産地育成事業実施産地数（累計） [21]－→[26]60産地 ○とくしま特選ブランド創出数（累計） [21]－→[26]40ブランド など9目標</p>	B	<p>9つの数値目標のうち8つは目標を達成しているものの、大阪中央卸売市場における青果物の都道府県別販売金額については未達成であることから、B評価とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25実績4位（H25目標1位） ・H25実績59産地（H25目標45産地） ・H25実績37ブランド（H25目標35ブランド）
3	<p>●障がい者の職業的自立支援 「徳島県障がい者の雇用の促進等に関する条例」に基づき、障がい者の職業能力開発に向けた訓練等を実施するとともに、事業主をはじめとした県民の意識啓発を図り、個人、地域、事業主、行政のそれぞれの立場で障がい者の職業的自立を支援する体制づくりを目指します。 ○民間企業の障がい者雇用率（H18対比増加幅） [21]全国2位→[26]全国1位 ○民間企業の障がい者雇用率 [21]1.61%→[26]2.00%（法定雇用率） など3目標</p>	C	<p>民間企業の障がい者雇用率のH18対比増加幅は全国2位と健闘してはいるものの、雇用率自体は、目標には達していないことから、C評価とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25実績 全国2位 ・H25実績1.78%（H25目標1.80%）
4	<p>●新成長戦略を支える基盤づくり 徳島小松島港におけるコンテナターミナルの赤石地区移転に伴い、県内の産業振興、地域経済の活性化を推進するための各種「貿易振興策」を実施します。 ○徳島小松島港コンテナターミナルにおけるコンテナ貨物取扱量 [21]10,600TEU→[26]15,000TEU ○新たなアジア航路の開設 [26]開設 など3目標</p>	D	<p>数値目標であるコンテナ貨物取扱量が3年連続で目標に達しておらず、かつ、新たなアジア航路の開設についても目標達成の見通しが立っていないことからD評価とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23実績11,443TEU（H23目標13,500TEU） ・H24実績10,709TEU（H24目標14,000TEU） ・H25実績12,450TEU（H25目標14,500TEU）

基本目標3 安全安心・実感とくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●安全で安心できる医療の提供 県立三好病院の高層棟の耐震改築を実施し、救命救急医療機能やがん医療機能などの充実を図り、四国中央部の医療の拠点にふさわしい病院としての機能整備を図ります。</p> <p>○三好病院の改築 [23]工事着手→[26]開院</p>	A	<p>本年8月に新高層棟が開院し、屋上のヘリポート新設や緩和ケア病棟の開設、個室病室を増やすなど、救急医療や災害医療、がん医療を担う「四国中央部の中核医療拠点」の整備が図られたことから、A評価とした。</p>
2	<p>●交通ルール遵守とマナーの向上 関係機関・団体と連携し、高齢者等を対象とした参加体験型の講習会等を開催するなど、交通事故の抑止に向け、交通ルールの遵守とマナーアップのための事業を実施します。</p> <p>○交通事故による死者数 [21]48人→[26]30人台後半</p> <p>○シートベルト着用率（運転席） [21]94.3%→[26]98%以上 など6目標</p>	B	<p>数値目標のうち交通事故による死者数を30人台後半にするという目標について、平成25年の実績は49人であったが、本年上半期の実績が14人であり、目標達成に向け取組の成果が見られることからB評価とした。</p> <p>交通事故の減少に向けて、気を引き締めて取り組んで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25実績 49人（暦年） ・H25実績 98.3%
3	<p>●地域防災力の強化 市町村が実施する自主防災組織の結成促進と活動の活性化を支援するとともに、地域防災推進員を養成するなど地域防災力の強化・促進を図ります。</p> <p>○自主防災組織率 [21]83.7%→[26]100%</p> <p>○市町村単位の自主防災組織連絡会の結成 [21]8市町村→[26]全市町村（24市町村） など5目標</p>	C	<p>数値目標のうち自主防災組織率や自主防災組織連絡会の結成市町村数が目標を下回っていることから、C評価とした。最終目標達成に向けて、市町村や地域住民への一層の働きかけが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25実績 92.8%（速報値）（H25目標96%） ・H25実績 13市町村（H25目標20市町村）
4	<p>●地震・津波災害に強いまちづくり 水道施設の耐震化がスムーズに実施できるよう市町村に対し支援を行い、「地震に強い水道」を目指します。</p> <p>○水道の基幹管路の耐震適合率 [21]18.4%→[26]35.0%</p>	D	<p>数値目標である水道の基幹管路の耐震適合率について、平成24年度は対前年度で0.8ポイントしか増加しておらず、このままでは最終目標の達成が難しいことから、D評価とした。</p> <p>災害に強いまちづくりのために、基本的なインフラである水道施設の耐震化に向け、市町村等への働きかけを強化して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23実績21.4%（H23目標20%） ・H24実績22.2%（H24目標25%） ・H25実績は集計中（H25目標30%）

基本目標4 環境首都・先進とくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●地球にやさしい生活・社会活動の推進 運輸部門における温室効果ガス排出量を削減するため、産学民官が連携・協働して、電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車等の次世代自動車に関する普及方策を決定し、その普及を図ります。</p> <p>○普及方策の決定 [23]決定</p> <p>○県内「急速充電設備（エコスタンド）」設置数（累計） [21]1基→[26]15基</p>	A	<p>普及方策の決定や数値目標であるエコスタンドの設置数が目標を達していることから、A評価とした。</p> <p>・H23実績 普及方策の決定 (H23目標 普及方策の決定)</p> <p>・H25実績14基 (H25目標12基)</p>
2	<p>●廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進 産学民官で構成する「とくしま環境県民会議」を中心に市町村や民間企業と連携して、マイバッグ持参の拡大を図り、ライフスタイルの転換を目指す「レジ袋ゼロの日・推進事業」に取り組みます。</p> <p>○「レジ袋ゼロの日・推進事業」への取組市町村数 [21]3市町村→[26]18市町村</p>	B	<p>数値目標である取組市町村数が昨年度と比べて大きく増加し、目標を達成しているが、実感として、買い物時にマイバッグを利用している場面に出会うことはまだまだ少ないように思う。</p> <p>マイバッグ利用時のスーパーの特典サービスなど、メリットをもっとPRするなど啓発に力を入れて欲しい。</p> <p>・H24実績 6市町村 (H24目標10市町村)</p> <p>・H25実績 15市町村 (H25目標14市町村)</p>
3	<p>●農林水産物への鳥獣被害防止対策 サルの被害に対する取組を計画的に進めるために、群れの行動を把握するためのテレメトリー調査を推進します。</p> <p>○テレメトリー調査実施市町村（累計） [21]2市町村→[26]10市町村</p> <p>注) テレメトリーとは、無線発信器により動物の位置を特定し、行動範囲などの情報を収集すること。</p>	C	<p>数値目標であるテレメトリー調査実施市町村数が、2年連続で目標に達していないが、同調査を補完するため、新たな手法（住民の目撃情報の集積）による調査にも取り組んでいることから、C評価とした。</p> <p>・H24実績7市町村 (H24目標8市町村)</p> <p>・H25実績7市町村 (H25目標9市町村)</p>
4	<p>●大気・水環境等の保全 アスベストによる被害を未然に防止するため、民間建築物所有者が行うアスベスト含有調査や除去工事に対し支援を行います。</p> <p>○補助を行った民間建築物数（累計） [21]4施設→[26]14施設</p>	D	<p>数値目標である補助を行った民間建築物数が、3年連続で目標に達していないことから、D評価とした。</p> <p>アスベストは、健康に重大な影響があることから、一層積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>・H23実績4施設 (H23目標7施設)</p> <p>・H24実績5施設 (H24目標10施設)</p> <p>・H25実績5施設 (H25目標12施設)</p>

基本目標5 みんなが主役・元気とくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●次世代育成支援のための経済的負担の軽減 不妊治療の経済的負担の軽減のために不妊治療費について助成します。</p> <p>○不妊治療費助成件数(累計) [21]1,517件→[26]3,500件</p>	A	<p>数値目標である不妊治療費助成件数が目標を達しており、また、平成25年度から助成額の県単上乗せを実施していることからA評価とした。</p> <p>・H25実績 3,712件(H25目標3,100件)</p>
2	<p>●男女の出逢いの場づくり 「出逢いきらめきセンター」を中心として、官民協働による男女の出逢いの場づくりを支援します。</p> <p>○男女の出逢いの場等への参加者数(累計) [21]—→[26]15,000人</p>	B	<p>男女の出逢いの場等への参加者数という数値目標は達成しているが、農業従事者等はまだまだ出逢いの場が少ないように思う。今後、参加者の地域、職種にも配慮しながら進めて欲しい。</p> <p>・H25実績 22,597人(H25目標12,000人)</p>
3	<p>●子育て機能の向上 病児・病後児保育事業の推進とあわせ、看護協会及びファミリー・サポート体制等との連携による、病児病後児サポート事業の実施により全県的な病児病後児の受入環境を整備します。</p> <p>○病児病後児保育実施市町村数 [21]9市町村→[26]全市町村</p>	C	<p>数値目標である病児病後児保育実施市町村数が、目標を達成していないことから、C評価とした。</p> <p>働きながら安心して子育てができるように、目標達成に向け、なお一層取り組んで欲しい。</p> <p>・H25実績 16市町村(H25目標20市町村)</p>
4	<p>●「生涯現役」の「元気高齢者づくり」の推進 働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会の確保・提供を行い、高齢者の生きがいを高めるとともに、地域社会の活性化を図ります。</p> <p>○「シルバー人材センター」の就労延日数 [21]50万人日→[26]57万人日</p>	D	<p>数値目標に対して、3年連続で実績が下回っていることから、D評価とした。</p> <p>高齢者に一層魅力ある就業の機会を提供できるよう、需要の掘り起こしにも力を入れて欲しい。</p> <p>・H23実績 50.6万人日(H23目標51万人日)</p> <p>・H24実績 47.4万人日(H24目標53万人日)</p> <p>・H25実績 48.7万人日(H25目標55万人日)</p>

基本目標6 まなびの邦・育みとくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●職業的自立を目指す生徒の就労支援 職業的自立を目指す生徒一人ひとりに応じた就労支援を推進するため、「徳島県立みなと高等学園」において障がいに対応した学科を設置し専門教育を行うとともに、事業所等での就業体験を積極的に行います。また、企業側の学校に対するニーズ・雇用情報の収集、就業体験の受け入れ先及び就労先の確保を図ります。</p> <p>○職場見学・就業体験協力事業所数(累計) [21] → [26]50事業所</p>	A	<p>職業的自立を目指す生徒一人ひとりに応じた就労支援を推進することは大切なことであり、数値目標である職場見学・就業体験協力事業所数が目標を上回っていることから、A評価とした。</p> <p>・H25実績 39事業所 (H25目標30事業所)</p>
2	<p>●豊かな心の育成 世界に誇ることができる徳島県出身の偉人の偉業や業績について、児童生徒が学習する機会を設けることなどにより、本県への愛郷精神を養うふるさと教育を推進します。</p>	B	<p>国際化の進む中で、子ども達にふるさとに自信を持たせる「ふるさと教育」は重要である。 子ども達に郷土の偉人の業績を教えるにとどまらず、地元徳島をもっと知ってもらおうような取組を工夫する必要があるのではないか。</p>
3	<p>●確かな学力の育成 すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を指名して子どもたちの学力向上を図るとともに、各学校の取組を情報発信します。</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率 [24]までに全国平均正答率を上回る</p>	C	<p>平成24年度までに「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率が全国平均を上回るという目標が、未だ達成されていないことからC評価とした。 本県においては、私立学校が少ないことから公教育の責任は重大である。しっかりと取り組んで欲しい。</p> <p>・H24実績(小99.5% 中98.8%) ・H25実績(小99.5% 中100.2%)</p>
4	<p>●健やかな体の育成 学校保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組みます。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。</p> <p>○肥満傾向児の出現率 [21]小・中・高の全年齢で 全国平均を上回っている →[26]小・中・高の全年齢で 全国平均以下</p>	D	<p>「肥満傾向児の出現率」を小・中・高の全年齢で全国平均以下にするという目標が、達成困難な状況となっていることからD評価とした。将来の生活習慣病の予防のためにも、少しでも改善するよう取り組んで欲しい。</p> <p>・H25実績 男子 6・7・10歳で 平均以下 女子 5・6・7・9・11歳で 平均以下</p>

基本目標7 宝の島・創造とくしま

項目	主要事業名・事業概要・数値目標	評価	評価意見
1	<p>●移住・交流施策の推進</p> <p>移住等に関する情報・魅力発信を行うため、地域の実情に柔軟に対応し、地域の創意工夫が活かせる総合的な支援を行う「移住交流支援センター」の整備や古民家・遊休施設を活用したサテライトオフィスの取組などを推進し、県と市町村が連携・協働した積極的な移住・交流の促進を図ります。</p> <p>○県外からの移住者数（累計） [23] → [26]180人 など2目標</p>	A	<p>数値目標のうち、成果指標である県外からの移住者数が、目標を大きく上回っていることから、A評価とした。</p> <p>・H25実績 171人（H25目標120人）</p>
2	<p>●四季を通じたにぎわいの創出</p> <p>「マチ★アソビ」に新たなイベントを加え、拡大するとともに、新聞・テレビ・雑誌・WEBや衛星放送等あらゆるメディアを活用し、全世界への情報発信を強化します。</p> <p>○「マチ★アソビ」年間参加者数 [22]59,000人→[26]100,000人 など2目標</p>	A	<p>数値目標の「マチ★アソビ」年間参加者数が、順調に増加しており、全国的なイベントとして定着していることから、A評価とした。</p> <p>・H25実績 113,000人（H25目標96,000人）</p>
3	<p>●県民に開かれた県政の推進</p> <p>県民からの電話による問い合わせを一元的に受け付ける県庁コールセンター「すだちくんコール」や「県庁サービスセンター」及び各総合県民局「県民センター」において、県民の県政に対する意見、苦情、照会、相談等に的確かつ迅速に対応するとともに、よくある質問をFAQとして整理・情報提供し、サービス向上を図ります。</p> <p>○コールセンターでの対応完了率 [21] → [26]60%</p> <p>○FAQ月間平均アクセス数 [21] → [26]3万4千件</p>	B	<p>数値目標のうちコールセンターでの対応完了率は目標にわずかに届いていないが、もう1つの数値目標であるFAQ月間平均アクセス数が目標を大きく上回ることからB評価とした。</p> <p>・H25実績 57%（H25目標59%）</p> <p>・H25実績 86,251件（H25目標33,000件）</p>
4	<p>●公正で公平な県政の推進</p> <p>公平・公正な職務執行の確保のため、「コンプライアンス基本方針」に基づき、「職員倫理意識の徹底」を図ります。また、担当内における「チェック機能」や「リーダーのマネジメント」が発揮される体制への見直しを行い、不祥事やうっかりミスを防止することができる組織づくりを進めます。</p>	C	<p>家庭との連携など、新たな工夫した取組を行っており、一定の評価はできるが、依然として職員の不祥事が発生していることから、C評価とした。</p> <p>不祥事の再発防止に向け、職員が一丸となって、取り組んで欲しい。</p>

3 県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

	提言先	項目	意見・提言の内容
1	目安箱	おもてなしについて	「東京オリンピック」開催決定の際に「おもてなし」が話題になったが、徳島(四国)の財産である「お遍路さんへのお接待」を「おもてなし」として発信し、五輪に役立てることはできないか。
2	目安箱	徳島の芸術の芽をつなごう	出羽島、海南文化村、神山に三好市のマチトソラ、LEDアートや万代埠頭など、芸術の取組みが県内各地でスタートしている。これらをまとめたホームページの作成や、近県のアート施設や道の駅へのチラシの配付など、他県へ発信してはどうか。
3	目安箱	三好市をアクティビティの街に	ニュージーランドのクイーンズタウンはアクティビティの拠点として、バンジージャンプ、ジェットボード、クルーズ、星空ツアーなどを楽しめる。多くの観光客を呼ぶために、景観保護や安全性確保など課題をクリアし、宿泊施設やアクセスを整備することによって、これらを大步危や祖谷周辺で実施できないか。
4	目安箱	環境とエネルギー問題について	電気自動車で県内を中心によく走行するが、阿南市より南に充電設備が全くない。日和佐、鷺敷、牟岐等の地域の道の駅や病院、宿泊施設等に、早い機会に1か所でも充電設備を整備できないか。
5	目安箱	すだちの色々な食べ方の募集	県外の人にとってすだちは身近なものではない。すだちには、「味噌汁に入れる」「ごはんにキュッと絞る」「意外とカレーに合う」などの美味しい食べ方があるが、それ以外にもまだまだあるのではないか。そこで「すだちの食べ方」を県民から募って、県外に向けてすだちとともに紹介してはどうか。
6	目安箱	すだちくんのLineスタンプ	私はすだちくんが大好きで、普段使っているLineのスタンプにも、すだちくんのものがあればいいなといつも思っている。イラストのすだちくんは本当にかわいいので、色々なバージョンで配信してはどうか。

	提言先	項目	意見・提言の内容
7	目安箱	高速バスのスロープ付バス導入について	京阪神行きのバスにスロープ付バスが1台もなく、電動車椅子で乗車できない。1台でもいいので、高速バスにスロープ付車両を導入して欲しい。
8	目安箱	インターネットでダウンロードできる県民手帳、防災手帳	災害の最新情報、津波の高さ、避難場所、避難経路を掲載した県民手帳、防災手帳をダウンロードできるホームページを作ってほしい。プリントアウトすることで、緊急情報満載の持ち歩けるノートとなる。
9	目安箱	科学技術振興策	子供達の関心が科学技術から離れているという話をよく聞く。県内には少年少女発明クラブが3つしかないことから、科学技術振興策に、少年少女発明クラブ活動の支援策を盛り込んでほしい。
10	目安箱	徳島県民の糖尿病予防と野菜摂取量向上について	徳島県民は、全国的に見て野菜の摂取量が少なく、糖尿病患者が非常に多い。そこで、例えば、「まず、野菜！食べる順番まるけん(県)」というような県民に分かりやすい標語を作ってはどうか。
11	わくわくトーク	剣山の魅力を体感してもらうために	剣山の素晴らしい自然を、徳島県の子供も達に知ってもらうために、小学校の5、6年生になったら、学校の伝統行事として剣山に登ってもらい、剣山を知ってもらってはどうか。
12	知事・市町村長会議	阿波とくしま・商品券について	商工団体が実施したプレミア付き地域商品券「阿波とくしま・商品券」は、県・市町村が連携して支援し、県内の個人消費の拡大、事業活動の活性化、経済の好循環の一助を図っており、販売後、即、完売となったものもある。第2弾の発売をお願いしたい。

4 参考

県政運営評価戦略会議 委員名簿

	氏 名	現 職 等
会 長	石田 和之	徳島大学大学院 准教授
副会長	阿部 頼孝	徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部 教授
委 員	井関 佳穂理	公認会計士
〃	坂本 真理子	NPO法人郷の元気 副代表理事
〃	佐和 良佳	美馬市社会福祉協議会 事務局長
〃	田村 耕一	(公財)徳島経済研究所 専務理事
〃	土佐 和恵	松茂農業協同組合 理事
〃	南波 浩史	徳島文理大学 教授
〃	橋本 延子	女性林業研究グループ「那賀川こまち」 会長
〃	浜口 伸一	(株)ハマグチ 代表取締役
〃	濱口 英代	和田島漁業協同組合 参事
〃	福島 明子	四国大学 講師
〃	藤原 学	四国労働金庫 常務理事
〃	森本 長生	(株)道の駅日和佐 駅長